

昭和48年3月 第1号

J A R L

東北地方本部報

発行人

榎 日本アマチュア無線連盟

東北地方本部

仙台市大町二丁目6-20

高橋ビル内

電話 27-3677

支 部 事 務 所 所 在 地

〔青森県支部事務所〕

〔秋田県支部事務所〕

〔岩手県支部事務所〕

〔山形県支部事務所〕

〔宮城県支部事務所〕

宮城県仙台市大町2-6-20

高橋ビル東北地方事務局内

〔福島県支部事務所〕

昭和48年度 東北地方本部運営方針決まる

昨年の連盟の定款改正によって、新しく発足した東北地方本部は今年2月24・25日の両日、仙台市こけし旅館において第1回の東北支部長会議を開催しました。

この会議には木賀専務理事の出席が予定されていましたが在京業務が多忙のため急にとりやめられました。なお、東北電波監理局免許部陸上課、監督部陸上課、監視部および監理部検定課から係官のご出席をいただきました。

会議に先だち、東北本部長から東北電波監理局の方々ならびに各役員の紹介があり、監査長にJA7IW植松一氏、会計監査にJA7CC高橋靖英氏を依頼したことについて説明があり、また、この会議を全国支部長会議のあとに開いたことについての経緯、支部長会議を定期的に開きたいこと、今後の発展のために協力して欲しいなどのあいさつがあり議事に入りました。まず、地方本部の今後の運営方針として支部長会の開催、オールコンテストの実施、非常無線通信の訓練およびJA7ハムの祭典、本部報の発行についての検討をしたあと47年度の業務概要、会計報告について説明があり、次いで48年度の本部費、支部費、事業計画について種々検討されました。

引き続きJA7IW植松監査長から4月に予定されている全国監査長会議・電障協関係およびTVIの現況・防止活動について色々意見が述べられました。

また、この会議に特にご出席をいただいた東北電波監理局の係官からそれぞれ所管事項について指導があり2日間に亘る会議は有意義に閉会しました。

東北地方本部役員および各県支部長

本部長	JA7HC	野口光男
監査長	JA7IW	植松一
会計監査	JA7CC	高橋靖英
秋田県支部長	JA7AB	三浦恒裕
岩手県 "	JA7AK	山本辰吾
福島県 "	JA7BO	平島希望
山形県 "	JA7AQR	田中芳熙
青森県 "	JA7ELP	堀徳郎
宮城県 "	JA7BGW	上杉功

各支部の事業計画（予定）

- 山形県支部
1. 組織の充実ならびに地域クラブの育成
 2. 支部大会の開催
 3. クラブ代表者会議の開催
 4. 各種コンテストの実施
- 岩手県支部
1. 組織の充実ならびに地域クラブの育成
 2. 支部大会の開催
 3. クラブ代表者会議の開催
- 青森県支部
1. 組織の充実ならびに地域クラブの育成
 2. 支部大会の開催
 3. 合同会議の開催
 4. 合同ミーティングの開催
 5. 支部ニュースの発行
- 秋田県支部
1. 組織の充実ならびに地域クラブの育成
 2. 支部大会の開催
 3. 合同ミーティングの開催
 4. 支部ニュースの発行
- 福島県支部
1. 組織の充実ならびに地域クラブの育成
 2. 支部大会の開催
 3. クラブ代表者会議の開催
 4. ミーティングの開催
- 宮城県支部
1. 組織の充実ならびに地域クラブの育成
 2. 支部大会の開催
 3. 合同会議の開催

昭和 48 年度支部予算

科目	県別	山形県	秋田県	青森県	宮城県
支 部 費		156,000	149,000	155,000	234,000
賞 典 収 入					
雑 収 入					
前 年 度 繰 越					
計		156,000	149,000	155,000	234,000
支 部 大 会 費		40,000	30,000	50,000	100,000
会 議 費		35,000	20,000	35,000	80,000
催 物 費			30,000	20,000	24,000
渉 外 費		5,000	5,000		5,000
通 信 費		6,000	10,000	19,000	3,000
交 通 費		10,000	24,000	1,000	10,000
消 耗 品 費		5,000	6,000	5,000	3,000
支 部 報 発 行 費			10,000	20,000	
事 務 印 刷 費		10,000	5,000		5,000
コ ン テ ス ト 費		20,000			
賞 典 費		10,000			
非 常 通 信 費					
備 品		10,000	5,000		
雑 費		5,000	4,000	5,000	4,000
計		156,000	149,000	155,000	234,000

科目	県別	岩手県	福島県	合 計
支 部 費		185,000	184,000	1,063,000
賞 典 収 入			10,000	10,000
雑 収 入		500		500
前 年 度 繰 越		3,000		3,000
計		188,500	194,000	1,076,500

科目	県別		合計	
	岩手県	福島県		
支部大会費	25,000	55,000	300,000	
会議費	75,000	50,000	295,000	
催物費	20,000	5,000	99,000	
渉外費	2,000	5,000	22,000	
通信費	10,000	10,000	58,000	
交通費	15,000	20,000	80,000	
消耗品費	3,000	5,000	27,000	
支部報発行費	12,000	30,000	72,000	
事務印刷費	10,000		30,000	
コンテスト費			20,000	
賞典費		10,000	20,000	
非常通信費	3,000		3,000	
備品	5,000		20,000	
雑費	8,500	4,000	30,500	
計	188,500	194,000	1,076,500	

東北地方本部長 JA7HC 野口光男

春とともに貴男も貴女もアマチュア無線を存分に楽しんでおられることと思います。

昨年8月にJARLの組織が改正されたことは既にどなたもご承知のことではありますが、昨年中にまだ旧態勢からの切替えが色々な面でむずかしいものがあり中途半ばになっておりましたが今年度からは名実共にJARLは新しい組織で動いてゆくわけです。即ち、監査指導業務は監査長を中心に一本化し、事務的なことは事務局で一切取扱うこととなり、そして県単位の支部がアマチュア全般の行事や親睦のために活動することになるわけです。今までとの違いを申し上げるなら県支部は少ないながらも予算をもち各県毎にその地域の特色を活かした運営をして会員に密着した活動ができるわけです。少ない予算でいかに会員のためになることができるかは支部長のうでにかかっているわけですがそこは皆さんの選んだ支部長ですから十分ご期待に添えることと確信しております。それにしても会員各位のご協力なくしては何事も実現しませんので何卒支部長に力を貸して自分らの支部を発展さ

せて下さい。

こう申し上げますと支部は支部長の考えで何をやってもよいのかとも思われますが支部には役員もいることですので支部長が独走するようなこともなく支部長の片腕となつてうまく運営されてゆくことと思います。それにJARLの方針に沿って運営していくための全国支部長会議や地方本部における支部長会議などあってJARL本来の目的からそれないような調整もなされるわけです。また、このようなコミュニケーションを旧支部と違って身近に会員各位に伝えられ会員と密着したJARLになるために新組織ができたのですから成果を期待して戴きたいと考えます。

一方、地方本部は何をするかと申しますと前に申し上げたような各県の調整をするほかエリア単位でないといけないアマチュア的な行事としてコンテストやOSO訓練の計画立案、対電監との関係、非常無線協議会や電障協などその他外部団体との関係、JARL本部や他エリアとの関係などエリア単位でないといけない仕事を受持つほか各支部の行事にできる限り参加し理事会や地方支部の動きなどを説明したり、各県の実情を把握して上部機関に提案したりしてコミュニケーションというパイプをつまらせないようにしてゆきたいと考えます。いずれにしても東北地方本部、それに各県支部を益々良いものにするため各役員的能力をフルに発揮して新しい組織を立派に育ててゆかなければなりません。そのためには、役員も仕事を持つかわらの奉仕であることを忘れず会員の方々の絶大なるご協力を得てみんなで力を合せて新組織の初年度に対処してゆかなければなりませんので何卒よろしくお願い申し上げます。

なお、もう一つお願いを申し上げますがアマチュア局の増加に伴うバンド内の混信は申すに及ばずアマチュア局以外の局の増加も目立っており、最近の電波情勢からみて種々の混信妨害を受けたり、あるいは与えたりさまざまなことに遭遇すると思っておりますがお互いに国の財産である電波の利用者として互譲の精神でこれらのことを善処して楽しいハムライフを過ごされますよう希望して止みません。

以上

秋田県支部の皆様へ

秋田県支部長 JA7AB 三浦恒裕

この度、JARLの組織改正により、秋田県支部長に就任致しました。支部役員も決定しましたのでよろしく願います。県内には約1,800局のアマチュア局があり、それぞれの楽しみ方でオペレートしており、ハムブームは喜ばしいことと思いますが、良く考えてみると手離して喜んでおられる状況でもありません。CB的な運用、電話ごっこ的なハムが多く既製のFBナリグ、他人に建てもらったアンテナで開局し、その後半年もせずにQRTしてゆく局が多く、アマチュア無線の真の楽しみ

を知らずに廃局してしまうことです。

それぞれ楽しみ方はあるかと思いますが、やはり技術的な裏付けがなくては、アマチュア無線技士の免許証が泣くというのでは、ないかと思います。秋田県は東北でも、昭和27年の再開後いち早くアマチュア局ができ、また、DXの盛んな県でもありますので、今後は益々機械のことが良く判る技術屋型ハムになるべく、勉強してゆきましょう。局数の多少よりは、アマチュア局1人1人のレベルの高さを誇りたいと思います。また、JARL会員の数は東北で最下位であり、JARLに入会しなくとも、アマチュア局は運用できるからというひともおりますが、日本を代表するアマチュア無線連盟に全員入会し、対外的な発言力を強め、新たな周波数の獲得や、他から狙われている周波数の防衛に努めましょう。会員の1人1人の力で秋田県支部は組織率100%としたいとおもっています。支部としての行事も暖かくなって参りましたので楽しいミーティングを計画しています。その際は多数ご参加下さい。

岩手県支部長 JA7AK 山本辰吾

昨年8月、JARLの新定款が認可されて以来、県支部の体制作りにも努力して参りましたが、今年1月31日付で支部規程が連盟から認可されました。支部役員も決定し、いよいよ、県支部として業務を開始しようとしております。

県内のJARL会員は、500人以上になりますが、今後、支部の業務を行なうに当り、会員個々の意見の吸上げ、あるいは、会員に対する連絡等を考えるとき、どうしても地域クラブの力を借りなければならぬと思っており、今後より以上に、県支部と地域クラブとの連携を密接に行きたいと思っております。

JARL、あるいは、県支部に対するご意見や、ご提案がありましたら、支部大会や、クラブ代表者会議の席上ばかりでなく、普段から、どしどし支部宛にお寄せ下さい。支部としてできるものはどしどし実行して参りたいと思います。

今後とも、会員の方々のご協力により、立派な支部を作り上げたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

福島県支部長 JA7BO 平島希望

福島県支部も発足以来約半年を経過しましたが、予算面、役員の不なれなどの事情で会員の皆さんに十分なサービスを行なうことができませんでした。本年度は7月29日に支部大会を予定しておりますが、これを中心としてFBな行事を計画しております。

また、5月末の全国大会は隣県で行なわれますので、各クラブからも多数出席され多くの意見を反映されるようお願いいたします。

3月現在県内の会員660，登録クラブ13です。

全福島賞について

昨年10月の支部大会に発表した全福島賞は続々と申請がでており、特別賞はJA7CYCが獲得しました。皆さんもぜひ賞を貰ってください。

ルール概略 昭和47年4月よりのQSOが有効、福島県内の10の市または郡とQSOしQSを得ること。(特別賞は全市全郡) 申請料200円(非会員400円)、用紙などは〒970内郷郵便局私書箱第4号JARL福島県支部あてSASEで、

養成講習会について

各地で養成講習会の計画がありましたら早目に連絡してください。手続の不備等で予定の日に開講できないことがないように十分余裕をみて計画してください。

県支部役員

支部長 JA7BO 総務幹事 JA7JQ 会計幹事 JA7ZC
賞担当幹事 JA7NX

ハム雑感

山形県支部長 JA7AQR 田中芳熙

いつの時代でもハムは趣味の王様である。親にかくれて作った高1中2のRXから突然聞こえてきたJA1△X局のダミ声。あの声を天使の声とおおき学校の勉強ならぬ猛勉強のすえ得たハムの免許証。中学時代の良き思い出でもある。高校時代にバイトをし、やっと買えた綿に包まれた807。超再生のRXに飛び込んできた無変調キャリアに「だれですか？」と日本語で問いかけたら呼んできてくれたVK4△X(現在でも何故彼が私の日本語がわかったのか不明)、大学の休暇と同時に帰省しお袋を助手に10分間で建てたホームメイド折りたたみ式二エレ八木のあの威力。結婚式の日オンエアより祝電をくれた香港のVS6△X。等々……。大げさに言えば私の青春はハムがすべてであったし、くいのない青春であったと思う。今現在でもSSTVをどうやって買おうか悩んでいるし珍局が出ると仕事も手につかず会社の時計を見上げる。出張等で遠出した際見えず知らずの人と話し合えるのも車に載った144のおかげである。しかし私は最近このハムが恐ろしくなってきた。まず第一に、これ程むずかしいものはないと思う。他の事なら10年もやっていたら一応完結するはずである。場合によっては師匠とも呼ばれるかもしれない。しかしハムにおいては、毎日毎日あきもせず

10年以上やっているが未だ終局どころか折り返し地点すら見えない。その原因についてはこう考える。

ハムが相手にするのはただ一つハムである。ハム＝人間である。つまり趣味とはいっても趣味の相手は人間である。人生は10年やっても人生の師匠とは呼ばれない。未だ小学生である。故にハムとは人生と同じに終りのないものであると考える。ハムが恐ろしい第二の理由も人生と同じ原因と考えるが、ハムの奥の深さにも気づかず、あまりにも安易にハムになり、あまりにも短命でハムをやめる人が多い事がある。幼稚園の幼児の中では必ず、ガキ大将が存在する。そしてガキ大将は、自分がすべてであると考えている。しかしガキ大将の親から見れば誠に未熟な人生を始めたばかりの子にすぎない。何もハムに充分なる金をかけ、オールバンド、オールモードでオンエアしようということではない。きわめて小地域の人とか話をできないハムであっても、きのうより、今日のラグチューを、今日より明日は、もっと上手にラグチューできる様に努力すること、きのうよりたとえ1メートルでも遠くまで電波を飛ばし1人でも多くの友人をもつこと、これがハムとして必要なる努力であると思われる。アマチュアコードの4項のうち私は「アマチュアは進歩的である事」が、特に好きである。幼稚園においては先生も親もおる。ハムにおいてはだれもいない。アマチュアコードと、ハムである私の自覚きり存在していないのである。

宮城県支部長 JA7BGW 上杉 功

JARLの組織改正により、新しく宮城県支部が発足になりました。

アマチュア無線は、個人個人が、自由に電波を発射していれば、それでこと足りるのであると思われませんが、電波を発射できるのは勝手に郵政大臣が、電波の割当てをしてくれたのではないのであります。先輩諸氏がJARLという組織により団結して、郵政当局と折衝してくれたからなのです。我々が安易に電波の発射ができるのも、すべてその恩恵に浴していることを忘れてはならないでしょう。

この組織を強化することは、我々がスムーズに電波を利用し、運用していくための布石なのであります。要するに自分の利益となって、返ってくるのだということを知らなければなりません。JARLが弱体であるならば、当局との折衝は、はかどらないであろうし、現在割当てされているバンドも、取り上げられるかも知れない。開局者は、即JARL会員でありたいと願うのであります。

今度の県支部制の実施は、JARLの組織強化と、会員相互の和を進め、また、会員の意見を反映させ、よりよい運用ができるようにするのが目的であります。

支部会員の希望や意見は、はっきりと私本人にお話し下さい。支部会員に親しまれる支部長として努力したいと思っております。

青森支部では昭和48年度の事業として、合同会議・役員会議・支部大会等の実施を考えておりますが組織運営の方針として、地域クラブを中心に置いていきたいと思っています。地域クラブに未加入の会員は各地域代表幹事と連絡をとって下さい。

皆皆さんの協力を得て支部の発展を計りたいと念願しています。

次に各地域クラブの動きを各クラブニュースから拾ってお知らせいたします。

青森クラブ

公開通信展、国試の予備講習会、電信級移行講習会、電話級標準コース講習会、アワード発行（青森ブタアワード）、製作講習会、支部大会（援助）、機関誌発行（毎月1回発行の「じよんがら」）を順次計画しています。

黒石クラブ

おしどりハム局誕生

JA7KACから

JA7ALX（安田勉、勢津子さん）

JA7BYC（笹田一雄、JA7QZU）

JA7EYL（寺口悦暢、たか子さん）

JA7BLR（大館信昭、みゆきさん）

JA7OUW（鎌田敏勝、久美子さん）

JA7OWU（富谷道雪、良子さん）

弘前クラブ

JA7HACから

弘前地区のDXERを中心にDXクラブが作られています。昨年末にJA7JW、BJL、JAA、KBGなどの局が中心になって結成されました。現在DX情報ニュースを発行活動中です。

高校の必修クラブが48年度から始まり、あちこちの学校にアマ無線クラブの名称がみられます。藤崎高校では、40名集まっていますが、免許所持者がおらず実際の交信をみたことがないということで、デモンストレーションをしてくれるOMを待っています。

五所川原クラブ

JA7TVIから

11月28日五所川原市春陽園で日赤アマチュア無線奉仕団のミーティングが開かれました。新調されたばかりの制服（ブルーの服と白ヘルメット）をカッコよく着こみ、記念写真をパチリ、和気あいあいのうちに21時終了、それにしても「カッコイ」……。日赤支部では身分証明書の発行を検討中です。

八戸クラブ

八戸クラブの組織の中に「シーサイド八戸クラブ」が結成されました。大世帯となって今までのままでは運営が困難なので八戸クラブのカサの下にいくつかの小クラブを作っていこうという考えです。八戸クラブの会長JA7BLHを顧問とし、会長は、JA7BIV、毎週金曜日午後9時から2PMによりネットコールを実施しています。主たる事業は、

- (1)アマ無線に関する研究および勉強会 (2)八戸クラブ主催事業への協力 (3)レクリエーションなどとなっています。

登 録 ク ラ ブ

宮 城 県

クラブ名	代 表 者	住 所
石 巻	北 角 栄 一	
気 仙 沼	大 宮 一 郎	
古 川	赤 間 操	
仙 台	磯 田 一	
塩 釜	高 山 博 之	
くりこま	遊 佐 光 政	

青 森 県

クラブ名	代 表 者	住 所
南 部	佐々木 禮次郎	
五所川原	伊 藤 博	
弘 前	小 坂 卓	
青 森	村 林 誠 造	
八 戸	中 村 秀 和	
十和田	成 田 五十三	
黒 石	寺 口 悦 暢	

秋 田 県

クラブ名	代 表 者	住 所
秋 田	佐々木 鏡 吉	
土 崎	佐々木 耕 一	
大 館	花 田 幸 正	
十和田八幡平	田 村 保 太 郎	
湯 沢	小 島 勇	
大 曲	佐々木 重 信	
男 鹿	小 川 隆	
横 手	岡 田 充	
八 郎 潟	金 子 友 雄	

岩 手 県

クラブ名	代 表 者	住 所
盛 岡	中 村 与 治 郎	
チ ベ ッ ト	高 橋 清 志	
北 上	織 笠 利 雄	
花 巻	清 水 潔 之	
釜 石	甲 斐 谷 和 吉	
グ リ ン	亀 掛 川 幸 助	
二 戸	荒 谷 寿	
宮 古	若 江 邦 男	
い さ わ	門 脇 功	
水 沢	藤 沢 康 文	
江 刺	菊 地 弘 尚	

福 島 県

クラブ名	代 表 者	住 所
い わ き	藤 咲 正 義	
郡 山	大 越 隆 一	
福 島	伊 藤 力 一	
会 津	佐 野 修 一	
相 馬	佐々木 信 一 郎	
小 名 浜	遠 藤 寔 雄	
須 賀 川	高 久 田 稔	
白 河	堀 川 哲 雄	
阿 多々 羅	渡 辺 修 寿 郎	
喜 多 方 マルチバンド	長 谷 沼 恒 一	

山 形 県

クラブ名	代 表 者	住 所
上 山	大 沢 武	
酒 田	土 門 敏 雄	
山 形	伊 藤 勝 夫	
鶴 岡	石 黒 一 義	

クラブ名	代表者	住 所
山形・北西	片 桐 一 男	
小 国	渡 部 健 一	
長 井	斉 藤 志 津 男	
南 陽	古 川 源 次	
尾 花 沢	斉 藤 芳 一	

学校クラブ

ク ラ ブ 名	代表者	住 所
八 戸 電 波 工 業 高 校	岩 岡 隆 雄	
盛 岡 工 業 高 校	熊 谷 誠	
県 立 横 手 工 業 高 校	柿 崎 正	
東 北 大 学	小 山 田 正 幸	
東 北 学 院 大 学	狩 野 一 夫	
一 関 商 工 高 校	千 葉 利 逸	
一 関 工 業 高 校	織 笠 利 雄	
東 北 工 大 電 子 工 業 高 校	松 原 光 一	
日 大 東 北 工 業 高 校	原 田 元 成	
仙 台 第 一 高 校	浅 野 昭 男	

職域クラブ

ク ラ ブ 名	代表者	住 所
東 北 電 力 ハ ム ク ラ ブ	斉 藤 一 雄	
秋 田 営 林 局 ハ ム ク ラ ブ	佐 々 木 鎌 吉	
東 北 沖 電 気 ア マ チ ュ ア ク ラ ブ	河 田 敏 材	
仙 台 放 送 ア マ チ ュ ア 無 線 ク ラ ブ	高 山 博 之	

特殊クラブ

ク ラ ブ 名	代表者	住 所
仙 台 モ ー ビ ル ハ ム ク ラ ブ	植 松 一	
秋 田 モ ー ビ ル ハ ム ク ラ ブ	遠 藤 吉 三 郎	
NON TROU CLUB	吉 田 英 明	
鳥 海 モ ー ビ ル ハ ム ク ラ ブ	大 野 悦 朗	
な が ま ち ク ラ ブ	庄 子 孝 一	

ク ラ ブ 員	代 表 者	住 所
AKITA IX RADIO CLUB	能登 功	
Y O U T H	佐藤 一夫	
平 ク ラ ブ	鈴木 健仁	
J M H C 山 形	久合田利夫	
North Japan DXクラブ	神尾 栄	
6m アルペンハムクラブ	小野寺憲和	

T V I の 防 止

この度の定款の改正は多方面に亘っていますが、アマチュア局の電波による電波障害等に関する事項が一般社会の人々にとっても最も深く関心のもたれるものです。

電波障害はアマチュア局を運用する方は会員・非会員を問わず是非とも解決しておかなければならない問題です。

アマチュア局を運用される方は、運用規則258条に規定されているように電波障害の申告があった時は電波の発射を停止する義務があります。免許申請書の提出の際に出した保証願の誓約書には「私の無線設備からBOI、またはTVIが発生した場合は、それが完全に防止できるまでは運用はいたしません」とあります。連盟では各エリア毎に監査長をおき、監査指導委員会を設けてTVI等の問題に対処しております。TVIの対策上お困りのときは委員会の方に相談、指導を受けられるのがよいと思います。

アマチュア局と被害者と感情的な問題が多く発生しますと社会から非難を受ける結果になり、遂にはアマチュア無線ができなくなってしまいます。

監 査 指 導 委 員 会

監 査 指 導 委 員 会

監 査 長 JA7IW 植 松 一

福 島 県

監査指導委員長		
JA7EEJ	佐 藤 嘉 志 郎	
監査指導委員		
JA7TX	高 久 田 稔	
JA7AXM	佐 野 修 一	
JA7BO	平 島 希 望	
JA7BAY	西 丸 真 生	
JA7BER	鳥 越 登	
JA7NX	奈 良 幹 久	
JA7DMZ	木 下 秀 昭	
JA7ASF	高 橋 俊 夫	

山 形 県

監査指導委員長		
JA7IF	片 桐 一 男	
監査指導委員		
JA7ALL	荒 井 寿 夫	
JA7OV	高 橋 良 信	
JA7TF	大 沢 武	
JA7ZM	高 野 博 徳	
JA7BUA	太 田 満 秋	
JA7DMX	加 賀 山 郁 夫	
JA7LWV	富 樫 誠 輔	

秋 田 県

監査指導委員長		
JA7DW	佐々木 由 行	
監査指導委員		
JA7FA	小 川 隆	
JA7DY	原 田 勇 作	

JA7AGO	富 樫 孝 夫	
JA7PL	芳 賀 芳 夫	
JA7ED	神 坂 正 明	
JA7AGL	相 沢 喜 弥	

岩 手 県

監査指導委員長		
JA7RF	鹿 糖 正	
監査指導委員		
JA7BOK	荒 谷 寿	
JA7IU	八 重 樫 昇	
JA7BL	織 笠 利 雄	
JA7BB	南 大	
JA7AZU	齊 藤 忠 弘	
JA7EBM	高 橋 敏	
JA7EIN	中 前 田 幸 夫	
JA7AZY	佐 藤 健 也	

青 森 県

監査指導委員長		
JA7BOL	砂 田 暁 伸	
監査指導委員		
JA7OR	松 橋 良 夫	
JA7GTU	小 坂 卓	
JA7PR	佐々木 礼次郎	
JA7AJI	七 戸 元 成	
JA7BYC	笹 田 一 雄	

宮 城 県

監査指導委員長		
JA7EKH	豊 原 幸 男	
監査指導委員		
JA7GC	千 葉 文 夫	
JA7JS	吉 田 友 和	

JA7FC	北 角 栄 一	
JA7AT	村 上 博	
JA7IWK	菅 原 久 雄	
JA7KC	赤 間 操	
JA7WY	三 浦 博 行	
JA7BZZ	陣 野 正 敏	

監 視 委 員

	コ ー ル	氏 名	住 所
青 森	JA7 JE	館 岡 勝 治	
"	NL	菊 地 聖 貢	
"	GNX	福 井 優	
"	HMG	白 戸 清 則	
秋 田	HPE	高 橋 健	
山 形	ANL	竹 越 富 治	
"	AMC	伊 藤 勝 夫	
岩 手	ABU	清 水 深 之	
"	WK	甲 斐 谷 和 吉	
福 島	BFH	伊 藤 力	
"	LUB	加 瀬 国 雄	
宮 城	CCR	高 山 博 之	

J A 7 管内で空中線電力10Wを超える局

(48.4.1 現在, 記載もれになっている局は事務局へお知らせください)

呼出符号	空中線電力	呼出符号	空中線電力	呼出符号	空中線電力	呼出符号	空中線電力
JA7AB	500	JA7AQR	50	JA7BJS	100	JA7DF	500
JA7AD	500	JA7AQZ	50	JA7BFH	50	JA7DK	120
JA7AK	50	JA7ARD	50	JA7BIN	100	JA7DT	500
JA7AO	500	JA7ARZ	350	JA7BUA	50	JA7DW	100
JA7AT	100	JA7ASD	80	JA7BYP	100	JA7DY	100
JA7AY	200	JA7AWM	50			JA7DZ	50
JA7ABQ	500	JA7AXM	50			JA7DDT	100
JA7ABJ	50	JA7AXN	100	JA7CL	50	JA7DLE	100
JA7ABU	100	JA7AZY	50	JA7CQ	500	JA7DLR	50
JA7ADD	200			JA7CX	100	JA7DPH	100
JA7AED	100			JA7CZ	50	JA7DQG	150
JA7AER	100	JA7BB	100	JA7CAM	100	JA7DRT	100
JA7AEM	150	JA7BE	250	JA7CCG	50	JA7DSQ	35
JA7AEX	100	JA7BH	100	JA7CCR	50	JA7DVE	100
JA7AFP	50	JA7BL	50	JA7CCZ	100	JA7DWF	100
JA7AFU	100	JA7BO	100	JA7CDS	100	JA7DWU	200
JA7AGL	50	JA7BT	50	JA7CDU	50	JA7DWM	100
JA7AJV	100	JA7BAY	100	JA7CDV	50		
JA7ALL	100	JA7BCE	50	JA7CEE	50		
JA7ALX	100	JA7BDW	100	JA7CLO	50	JA7EW	50
JA7AMC	50	JA7BGU	50	JA7CNV	50	JA7EAD	100
JA7AMW	100	JA7BGW	50	JA7COI	100	JA7EBC	500
JA7ANK	50	JA7BHC	50	JA7CSL	50	JA7EBJ	100
JA7ANQ	50	JA7BIV	100	JA7CUX	50	JA7EBY	50
JA7AOC	50	JA7BKN	50	JA7CVQ	150	JA7ECH	80
JA7AOD	50	JA7BNH	100	JA7CXQ	50	JA7EDM	100
JA7APW	50	JA7BOB	100	JA7CYC	50	JA7EEH	100
JA7AQC	100	JA7BNV	100	JA7CZN	100	JA7EFB	50

呼出符号	空中線 電力	呼出符号	空中線 電力	呼出符号	空中線 電力	呼出符号	空中線 電力
JA7EGF	100	JA7GCI	50	JA7JI	300	JA7MUT	500
JA7EHW	100	JA7GDI	100	JA7JM	50	JA7MBT	500
JA7ELA	100	JA7GDN	50	JA7JQ	500	JA7MOL	100
JA7EMM	100	JA7GFD	50	JA7JS	100		
JA7ENR	50	JA7GHI	200	JA7JW	50		
JA7EPE	100	JA7GIF	100	JA7JHE	100	JA7ND	80
JA7EQA	100	JA7GTR	50	JA7JRD	50	JA7NI	50
JA7ERR	80	JA7GUN	130	JA7JRV	100	JA7NK	50
		JA7GWU	100	JA7JSC	50	JA7NL	50
		JA7GPZ	100	JA7JXY	100	JA7NX	100
JA7FC	100					JA7NY	50
JA7FU	100					JA7NZ	100
JA7FAS	100	JA7HC	100	JA7KC	100	JA7NZH	100
JA7FBP	100	JA7HR	200	JA7KE	50	JA7NTI	50
JA7FHU	500	JA7HX	50	JA7KQ	100		
JA7FHX	100	JA7HZ	100	JA7KP	100		
JA7FGA	50	JA7HAV	200	JA7KY	100	JA7OB	100
JA7FGJ	100	JA7HHT	100	JA7KCR	50	JA7OD	50
JA7FIP	50	JA7HKS	100	JA7KEK	50	JA7OP	50
JA7FKW	500			JA7KSR	100	JA7OXT	50
JA7FLG	100			JA7KXD	100		
JA7FMQ	100	JA7IF	100				
JA7FNQ	100	JA7IJ	500			JA7PB	100
JA7FOB	100	JA7IL	50	JA7LO	50	JA7PD	50
JA7FSD	120	JA7IW	500	JA7LME	50	JA7PL	50
		JA7IAU	100	JA7LUB	100	JA7PCH	200
		JA7IIZ	100				
JA7GA	100	JA7IWD	100				
JA7GD	50			JA7MA	100	JA7RA	100
JA7GP	30			JA7MJ	500	JA7RF	50
JA7GY	100	JA7JB	100	JA7MN	50	JA7RG	120
JA7GAV	200	JA7JG	50	JA7MIW	100	JA7RH	500
JA7GAX	50	JA7JH	50	JA7MQM	50	JA7RL	50

呼出符号	空中線電力	呼出符号	空中線電力	呼出符号	空中線電力	呼出符号	空中線電力
JA7RM	100	JA7UQ	30	JA7YB	100	JA7YAA	50
JA7RU	50	JA7UU	50	JA7YC	50	JA7YAG	100
JA7RY	15	JA7UZ	500			JA7YAR	50
JA7RAB	50					JA7YBC	200
						JA7YDC	100
		JA7VNT	50			JA7YDM	50
JA7SD	50	JA7VOB	50			JA7YFA	100
						JA7YFD	50
						JA7YFY	100
JA7TI	50	JA7WK	100			JA7YGV	50
JA7TM	100	JA7WS	100			JA7YJB	500
JA7TF	100	JA7WY	30			JA7YLC	100
JA7TPI	50	JA7WZ	100			JA7YMA	50
JA7TVV	150					JA7YRH	50

東北電波監理局からの注意ならびに要望事項

支部長会議において同局から次の事項について注意ならびに要望がありました。

免許部陸上課

1. アマチュア局の再免許の申請にさいしては、免許の有効期間満了前1ヵ月までに申請書が到着するよう提出されたいこと、申請の際提出する書類として、再免許申請書正本1通、写し1通計2通。

現在交付されている免許状の写し1部、手数料は600円であること。

2. 検査を要する場合の申請にあたっては、備考欄に電話番号（勤務先のある場合は勤務先の名称）を付記すること。

3. 申請書の住所と設（常）置場所の住所が異なる場合は免許状等の送付先を明記すること（返信

用封筒添付のこと)。また、下宿・アパートの場合は〇〇方、または〇〇号とはっきり記載すること。

監督部陸上課

1. 非常通信(訓練を含む)を行なったとき、人命の救助(目的外通信)に関することを行なったときは報告すること。
2. 設備の操作に際しては操作範囲を超えないこと、電信級は電信のみ、電話級は無線のみであること。
3. 設備を他人の使用に供してはならない。
4. 特に認められる場合を除き、目的、空中線電力等は免許状に記載されている範囲を超えないこと。

監理部検定課

1. アマチュア無線技士の国家試験は4月と10月に施行され、受験申請書の受付は2月と8月であること。(受付期間はその都度決定される)。手数料は国の印紙、また、受験地は東北地方は仙台のみであること。
2. 免許の申請期間は合格した日、または養成課程を修了した日から3カ月以内であって申請書には診断書・写真・戸籍抄本または住民票の写しを添付すること。
 - (1) 申請書については、資格・印紙(国の収入印紙)・なつ印・受験番号・年月日・欠格事由
 - (2) 診断書については全項目の記入の有無
 - (3) 抄本については生年月日
 - (4) 写真については受験申請前6カ月以内のもの、大きさ(横35%、たて45%)などについて注意し、宛先を明記し20円切手を貼った返信用封筒を同封すること。

監視部

1. 不法開設の防止に協力して欲しいこと。
2. アマチュアの設備を個人の事業用に使用しないこと。
3. 指定外周波数、指定外電波の型式を使用して運用しないこと。

東北電波監理局の所在地

仙台市本町三丁目2番23号

第2合同庁舎内 (電話 61-5221)

オール東北コンテスト要領

JARL 東北地方本部では恒例のオールコンテストを、他のエリアを含めた新たな要領で開催いたします。

多数の参加をお待ちしています。

- 一、日 時 昭和48年5月5日 21:00時から
6日 18:00時まで
- 二、参加資格
 1. JA7管内局(JA7の管内に在住するJA7のコールサインを有する者)
 2. JA7管外局(JA7以外の全ての局)
- 三、参加部門
 1. 個人局シングルバンド
 2. 個人局マルチバンド
 3. 社団局マルチバンド
 4. SWLマルチバンド
 5. 登録クラブ対抗
ただし、個人局マルチ、社団局マルチ、SWLマルチについてはJA7管外の局の参加を認める。
クラブ対抗部門、サマリーシートに記載されたJARL登録クラブ毎に集計し得点とする。
 6. 周波数・電力・電波型式、各局に免許されている範囲内
- 四、交信方法
 1. 呼出し「CQ JA7 TEST」
 2. コンテストナンバー、RSまたはRST+都道府県ナンバー
- 五、交信上の注意事項
 1. JARL制定のフオンバンドを逸脱しないこと。
 2. その他JARLコンテスト規約に準ずる。
- 六、得点の計算方法
 1. 完全な交信を1点とし東北六県(02~07)のみをマルチとする。
 2. (各バンドで得た得点の合計)×(各バンドで得たマルチの合計)
 3. SWLの場合、ログの記入方法および得点の計算方法はJARLコンテスト規格に準ずる。
- 七、審査 別に定めるコンテスト委員会において厳重に行なり。
- 八、失格事項
 1. 電波法令に違反したもの。
 2. 提出書類(ログ・サマリーシート)不備のもの。
 3. 2部門以上にわたってログを提出したもの

4. 書類提出が遅れたもの。
5. 同一バンド内で重複した局が4局以上あった場合。
- 九、入 賞
1. 各部門において参加局1～5は1位のみ。
6～10局は2位まで、11局以上は3位まで入賞とする。
2. 発表は6月1日電波の日およびJ A R L , N E W S紙上(入賞者のみ)
- 一〇、ログの締切日 昭和48年5月11日(当日消印有効)
- 一一、ログの提出先 〒980
宮城県仙台市大町2の6の20
高橋ビル内
J A R L 東北地方本部
コンテスト委員会
- 一二、主 催 東北地方電波協力会
- 一三、後 援 J A R L 東北地方本部

ONE DAY JA7 賞の手数料の改定について

ONE DAY JA7 賞の申請手数料は、4月1日から300円に改定されましたから間違いのないようにして下さい。

非常通信訓練の実施

地震・台風・洪水・津浪・雪害・火災・暴動・その他、非常の事態が発生し、または発生するおそれのある場合における人命の救助、災害の救助、交通通信の確保または秩序の維持のための無線通信を、一般に非常の場合の無線通信といっています。

この災害の発生にそなえ、非常通信の迅速確実な伝送訓練を行なうもので、東北地方非常無線通信協議会の昭和48年度の実施計画に基づいて行なう「アマチュア局の部」の訓練であります。訓練は各県の警察本部、その他関係機関の協力のもとに実施するものであり、できる限り多くの局の参加を目標としております。

ただし、実際の非常通信が行われる事態が発生した場合には、直ちに訓練を中止しなければなりません。

- 一、目的 非常無線通信網の設定および通報伝送の訓練を目的とし、最近の電波の情勢から電話を中心として文書形式によって行なわれます。
- 二、主催 東北地方非常無線通信協議会の計画に基づき東北地方本部が主催します。
- 三、実施期日 昭和48年8月12日
- 四、参加者 免許を受けたJARL管内のアマチュア局。
- 五、周波数等 周波数・電波型式・空中線電力は各局に許可されている範囲内で行なうこと。また周波数はJARLで制定しているアマチュアバンドの非常波（JARL会員手帳参照）を使うことを原則とします。
- 六、通報電文 訓練用電報を約10通を地方本部において作成し発信地のクラブ会長に送付し発信を依頼します。
- 七、呼出応答等
 - (1) 呼出 クンレン（3回）
各局（3回）
こちらは（1回）
自局の呼出番号（3回以下）
どうぞ（1回）
 - (2) 応答 クンレン（3回）
相手方の呼出符号（3回以下）
こちらは（1回）
自局の呼出符号（1回）
どうぞ（1回）
- 八、発信局 発信を依頼された局は指定された時刻になったら受付時分を記入して開始して下

さい（会長が発信できないときは他局に発信を依頼）。

九、中継局 通報を受信し、中継局となったときは、これをさらに次の中継局か著信局に伝送して下さい。この場合、「局内心得」に自局名を記入して下さい。「局内心得」には「クンレン」の語の次に中継局名がつきつきに書き加えられることとなります。

一〇、著信局 自分の市あての通報を聞いたら直ちに応答し、通報を受信して下さい。各欄、本文を確かめ、著信局、受信時分、受信者名を記入し、あて名に配達先の電話番号が記載されていますからそこに「非常無線通信訓練の電文がそちらあてに入ったのでお伝えします」といって電文を送って下さい。

一一、報告 参加局は訓練終了後10日以内に別紙報告書を使用して電文を添えて報告して下さい。

送付先 仙台市大町二丁目6の20

高橋ビル内

JARL 東北地方本部

（本部では報告を一括して電監、協議会に提出）

